

きらめき 愛される港



名古屋港管理組合 企画調整室

〒455-8686 名古屋市港区入船1-8-21 TEL 052-661-4111 FAX 052-654-7997

再生紙を使用しています

2007年3月
名古屋港管理組合

長期構想「名古屋港の針路」について

近年、世界的な港湾間競争が激化する中、わが国港湾の相対的な地位が低下しており、船舶の大型化や寄港地の集約、アジアとの相互依存関係の深化など、港湾を取り巻く情勢を見極め、その変化に的確に対応していくことが必要となっています。

名古屋港は、年間の総取扱貨物量と貿易額においてわが国港湾の中で第1位を堅持し、好調な港勢を維持する反面、著しく増加するコンテナ貨物への対応や魅力ある港湾空間の創出、安全・安心の確保など、要請の多様化や課題の増大により、新たな展開に向けた局面を迎えています。

こうした中、名古屋港がこれからも、地域やわが国の持続的な発展と人びとの豊かなくらしを支えていくためには、「現在から着実に進めていく取り組み」や「戦略的・重点的な方向性」を明らかにした、新たな長期構想を示すことが必要不可欠となっています。

第1次

1988年(昭和63年)
名古屋港基本構想

第2次

1999年(平成11年)
名古屋港基本構想フォローアップ

第3次

2007年(平成19年)
長期構想「名古屋港の針路」

世界ステージでのさらなる飛躍に向け、実勢と課題を考察し、新たな将来目標とその展開方向を示す、港勢拡大・課題克服施策が複合した総合飛躍育成型の長期構想です。

性格

- 名古屋港管理組合の政策体系の基本とします。
- さまざまな主体の諸活動の指針として活用されることを期待しています。
- 多くの方々と共有し将来目標を実現することをめざしています。

目標年次

- 概ね20年先(2027年頃)を想定しています。

現状

特性1 日本の中央

日本列島のほぼ中央部に位置し、陸海空の多様な輸送モードとの利便性が高く、流通拠点を設置する際の優位性が高くなっています。



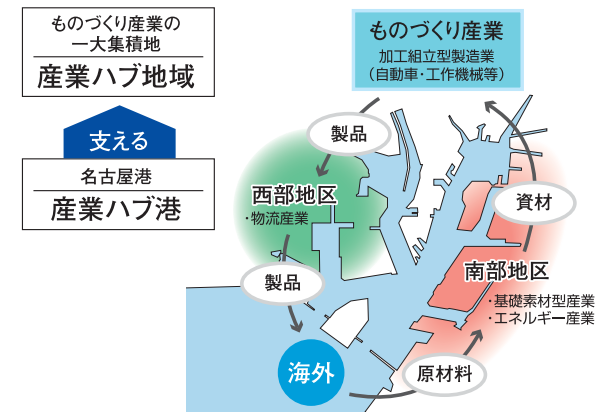
特性3 充実の航路網

世界の約150の国や地域と貿易で結ばれています。



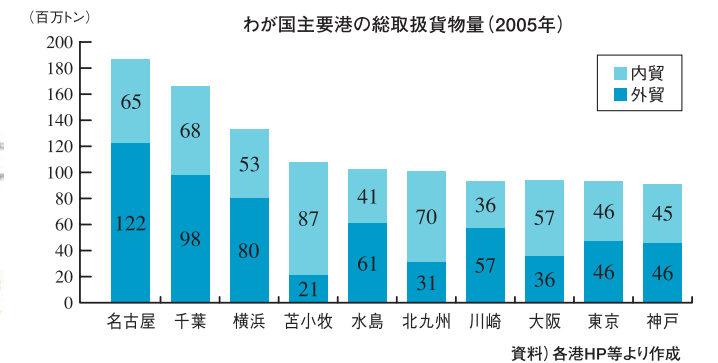
特性2 ものづくりとの一体性

背後に世界有数のものづくり産業が集積し、製造品出荷額等で、愛知県は全国第1位となっています。名古屋港で取り扱う貨物の約98%が中部地域9県で生産ならびに消費されています。



特性4 日本一の貨物量

年間の総取扱貨物量および貿易額は、わが国港湾の中で第1位となっています。



取り組み1 ものづくり中部を支える

次世代高規格コンテナターミナルの形成をはじめとして、航路や泊地、道路の整備、四日市港や中部国際空港との連携など、国際競争力の強化を推進しています。また、土地利用の規制緩和や料金の優遇措置を実施しながら企業誘致活動を行い、物流の高度化を図るロジスティクスハブの形成を進めています。



取り組み2 人びとに親しまれる

ガーデンふ頭では、観光施設を整備するとともに、イベントの開催や客船の寄港など、賑わいのある空間づくりに努めています。金城ふ頭では、フットサルコートや結婚式場などがオープンし、商業・娯楽施設の導入など、交流拠点の形成を進めています。また、藤前干潟の保全、風力発電施設や緑地の整備、港内のゴミ回収など、良好な港湾環境の形成に取り組んでいます。



取り組み3 安全・安心を支える

高潮防波堤や防潮壁など、背後地域を守る防災施設の充実を図るとともに、フェンスやゲート等の設置、警備や監視などによる保安対策を実施し、安全と安心を支え、信頼される港づくりを進めています。



将来目標

きらめき愛される港

世界★日本★地域

世界にきらめく港

ものづくり中部を世界と結ぶ先進的で信頼される港湾機能と、産業の新時代を支える高度なものづくり基盤を形成することにより、物流と生産のステージで、世界にきらめく港をめざします。

人びとから愛される港

快適な港湾空間や魅力ある観光資源を提供し、安全で安心な暮らしを守り、かけがえのない自然環境と共生することにより、人びとから愛される港をめざします。

基本姿勢

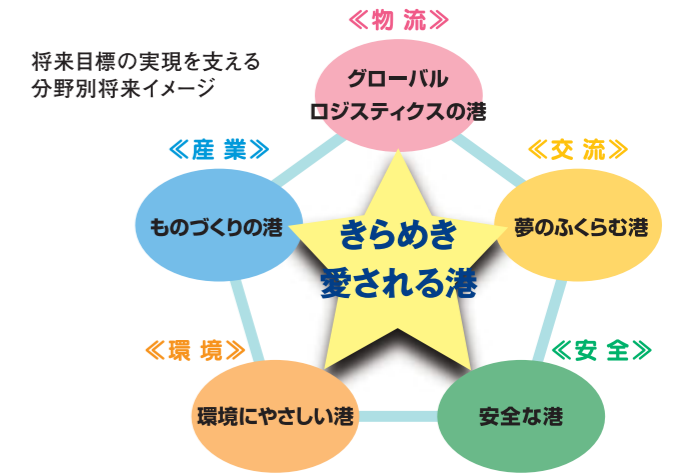
いつも挑戦!

これからも、「中部地域の活力を支え、わが国の持続的な発展に貢献する」「人びとの豊かな暮らしを支える」ために、常に挑戦する港であり続けます。



分野別将来イメージ

将来目標“きらめき愛される港”をめざすにあたり、5つの分野(物流、産業、交流、環境、安全)から、将来イメージを設定するとともに、実現に向けた基本目標と展開方向を示します。



グローバルロジスティクスの港

世界で活躍するものづくり産業や人びとの豊かなくらしを支える、グローバルロジスティクスにおける中核拠点の港をめざします。

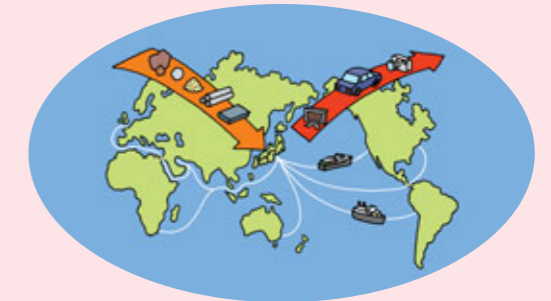
基本目標1 国際・国内海上輸送機能の強化

- 展開方向
- ・スーパー中核港湾プロジェクトの推進・充実・深化
 - ・コンテナ機能の強化
 - ・戦略的プロモーション
 - ・東アジア域内輸送への対応
 - ・港湾諸手続きの迅速化
 - ・コスト・サービス水準の向上
 - ・長期的な対応
 - ・効率的な物流オペレーション
 - ・モーダルシフトの促進
 - ・航路体系の確立



基本目標2 ロジスティクスハブ機能の強化

- 展開方向
- ・ロジスティクス機能の集積
 - ・広域流通拠点の形成
 - ・広域道路網の拡充
 - ・臨港道路体系の充実
 - ・シームレスな物流環境の形成
 - ・情報基盤の強化
 - ・物流事業者の育成・誘致

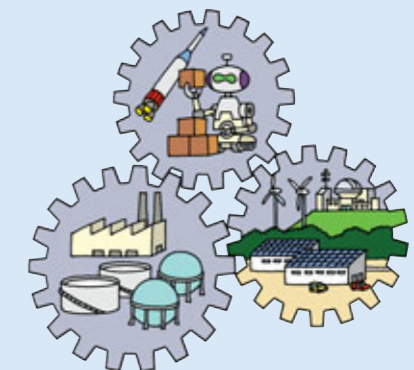


ものづくりの港

高い国際競争力を持つ、新たなものづくり基盤の港をめざします。

基本目標 産業の高度化・新展開・創出

- 展開方向
- ・高度化・新展開への支援
 - ・競争力の維持・強化
 - ・新規・成長産業の誘致・育成
 - ・体制づくり
 - ・活動の連携
 - ・立地企業の把握・分析



★ 夢のふくらむ港

港に集うあらゆる人びとに親しまれる、夢のふくらむ港をめざします。

基本目標 うるおいと魅力のある港湾空間の形成

- 展開方向**
- ・快適な空間の形成
 - ・親しまれる港づくり
 - ・港固有資源の活用
 - ・港らしさを感じる景観の形成
 - ・多様な展開とPR活動
 - ・視点場の創出
 - ・多様な主体との連携・協働
 - ・水の交流軸の形成
 - ・クルーズ客船の誘致



★ 環境にやさしい港

さまざまな面で環境に配慮する、環境にやさしい港をめざします。

基本目標 良好な港湾環境の形成

- 展開方向**
- ・環境配慮の標準化
 - ・ゼロエミッション化
 - ・静脈物流拠点の形成
 - ・自然環境の保全・再生
 - ・多様な主体との連携・協働
 - ・環境学習の場の提供
 - ・秩序ある港湾空間
 - ・自然と新エネルギーの活用
 - ・浚渫土砂処分場等の確保



★ 安全な港

安心なくらしや安定した産業活動に貢献する、安全な港をめざします。

基本目標 安全性・信頼性・危機管理の向上

- 展開方向**
- ・平常時からの備え
 - ・施設の計画的な更新・強化
 - ・危機管理の強化
 - ・体制づくりと連携
 - ・安定した港湾機能の提供
 - ・緊急輸送ネットワークの強化
 - ・ユニバーサルデザイン化



🚢 空間利用のゾーニングのイメージ

名古屋港の現状における空間利用状況と分野別将来イメージを踏まえ、それぞれの相互関係にも留意しながら、将来の空間利用の方向性とゾーニングのイメージを示します。

■物流ゾーン

今後の方向性

- 次世代高規格コンテナターミナルを中核として、飛島ふ頭と鍋田ふ頭を中心とするコンテナ機能の拠点化を推進します。
- ロジスティクス機能の集積や道路・航路体系の充実、航空輸送との連携など、陸海空を結ぶマルチモーダルな環境整備を推進します。
- 物流用地の確保や柔軟な土地利用などにより、効率的で質の高い物流ゾーンを形成していきます。

■留保ゾーン

- 現時点では明確に想定できない新たな情勢の変化に対応するため、ポートアイランドと南5区拡張空間を留保ゾーンとして設定します。
- 社会情勢の動きに注視しながら、関係機関と一体となった展開への準備を可能な限りめざします。

■交流・環境ゾーン

今後の方向性

- 金城ふ頭におけるモノづくり文化交流拠点構想の推進、都心部につながる水面の活用など、交流空間を拡充します。
- 産業や物流機能とのすみ分けを行い、魅力ある景観や緑のネットワークの形成を推進します。
- 藤前干潟をはじめ、港内の自然環境の保全や活用、環境学習の場の提供に努めていきます。

■産業ゾーン

今後の方向性

- 東南部地区は、産業の高度化、新展開、創出など、新たなものづくり基盤の拠点として企業集積を図ります。
- 潮見ふ頭は、エネルギーや化学関連の産業展開ゾーンとして活用するとともに、新たな展開や再編を模索します。
- 西部地区は、周辺の土地利用を踏まえ物流や生産関連の誘導を推進します。

🚢 推進にあたって

分野間の連携を図りながら着実に取り組みを進める中、以下のことを重視していきます。

- 港湾経営の視点に立ち、「顧客志向」「成果志向」に沿った変革を推進しながら、効率的かつ効果的な整備、管理、運営に努めていきます。
- 速やかな実施、柔軟な対応、創意工夫の発揮に努めていきます。
- 港の持つ能力の最大限の利活用と勢力拡大を図っていきます。
- 新規整備、既存ストックの有効活用、ライフサイクルマネジメント(LCM)の調和を図っていきます。
- 親しみやあこがれ、誇りなど港への気持ちが生まれ、育まれるよう、港の存在感を高めていきます。
- 環境と安全に配慮し、調和を図っていきます。
- 要請や意見に耳を傾け、ベストサービスを追求していきます。
- 名古屋港に関係するさまざまな主体と連携し、地域と一体になることに努めていきます。

構想全体を推進し、将来目標の実現に向けた展開を加速させる取り組みを重点項目として、環境と安全に配慮しつつ強力に進めていきます。

- コンテナ機能の強化
- ロジスティクス機能の強化
- 交通機能の強化

